

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1. 五類定点疾患週報情報

令和7年第30週(令和7年7月21日～7月27日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症 (ARI)※2	3,918	41.24	-	→	11	突発性発しん	13	0.22	0.34	
2	インフルエンザ ※3	6	0.06	0.24		12	ヘルパンギーナ	99	1.71	1.12	→
3	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	242	2.55	-	↗	13	流行性耳下腺炎	3	0.05	0.03	
4	RSウイルス感染症	16	0.28	2.11	→	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	21	0.36	0.28	↘	15	流行性角結膜炎	12	0.63	0.44	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	109	1.88	0.89	↘	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	250	4.31	2.92	↘	17	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.00	
8	水痘	10	0.17	0.08		18	マイコプラズマ肺炎	19	0.95	0.24	→
9	手足口病	32	0.55	5.03	→	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	117	2.02	0.00	↗	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.01	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点(内科)	ARI定点(小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	58	19	20

急増減	↑	↓	1: 2以上の増減
増減	↗	↘	1: 1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1: 1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告患者数が、県内すべての保健所管内で警報継続基準値(定点当たり4)を下回りました。流行は終息に向かっていると考えられるため、令和7年6月19日に発令した「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」を令和7年7月31日に解除しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
伝染性紅斑	2	1	-	警報発令 (R7.5.22発令)	0.86	5.00	2.00	0.00	3.05	0.44	0.71
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	警報解除 (R7.6.19発令分)	0.57	3.40	2.20	1.67	2.32	1.11	1.57

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

●急増疾患 なし
●急減疾患 なし

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1	1	2		
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					1		2
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類	144	ウイルス性肝炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	5					4		1
		百日咳	138	21	43	13	6	33	10	12

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

●詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>